

平成 2 9 年度
地方創生推進交付金事業
の効果検証

平成 30 年 9 月
射 水 市

平成29年度に国の地方創生推進交付金を活用した事業は、以下のとおり。

①完全養殖サクラマスローカルブランディング創出事業

事業費 46,158千円
 交付金額 22,509千円

<事業概要>

サクラマスのブランド化を推進するとともに、販路拡大及び生産能力の調査並びに機能増強を図る。また、サクラマスを通じた6次産業化による定住促進を図る。

- 販路拡大・市場拡大
- イメージアップ戦略・海外進出等
- JRとのタイアップによるテストマーケティング
- 地域活性化のための観光協会タイアップ
- 高品質サクラマス製造のための設備機能増強
- 関連事業の資質向上
- 海面蓄養試験

K P I		H29	H32
純射水産サクラマス（陸上養殖）の年間売上高（千円）	目標値	16,000千円	60,000千円
	実績値	10,108千円	
鱈専用米作付面積（a）	目標値	60a	1,200a
	実績値	50a	
養殖サクラマス取扱店（店舗）	目標値	4店舗	10店舗
	実績値	29店舗	
海面蓄養（養殖）サクラマス売上高（千円）	目標値	0千円	45,360千円
	実績値	0千円	

<主な取組及び成果>

- 1 純射水産サクラマス（陸上養殖）の年間売上高については、計画どおり生産したものの、将来にわたって安定的に供給する店舗を確保するため、生産されたサクラマスをテストマーケティングとして一部無償提供等したため、売上高としては達成していない。一方、このテストマーケティングの効果もあり、取扱店舗数の目標は大幅に達成している。安定的な取扱店舗を確保し、生産から販売までのビジネスモデルを確立している。
- 2 販路拡大のため、首都圏などでのPR活動、都内にある県内アンテナショップでサクラマスフェアの実施等を行うとともに、JR西日本と連携協定を締結した。
- 3 鱈寿司専用米の生産、里山再生とあわせた熊笹の生産、魚醤の製造を行った。

<今後の取組>

- 1 陸上養殖については、年間1万尾の生産を目指す。
- 2 軌道に乗った事業運営のため他の関連事業のマーケティングも含めた経営診断及びサクラマスのプレミアム化を含めた商戦、売り込み展開を行い、稼ぐ力と継続するビジネス展開を検証する。
- 3 海上養殖試験を実施し、生産量の増強と大型市場化を目指す。

「海のあるスイス」をめざすA L L 富山観光プロジェクト

事業費 2,577千円
 交付金額 1,288千円

< 事業概要 >

平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、「選ばれ続ける観光地 富山」を目指し、官民一体となって「マーケティング=売れる仕組みづくり」と「ブランディング=上質なライフスタイルのブランドイメージの確立」に重点的に取り組む。

戦略的な観光地域づくり・広域観光の拠点化
 富山らしい魅力創出・戦略的なプロモーション
 美術館・博物館・芸術文化施設等の魅力向上・発信による誘客促進
 首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランドカアップ
 季節に応じた富山の食の魅力の発信・イベント開催等を通じた「食のとやまブランド」の確立

K P I		H 26	H 29	H 32
富山県全体の観光消費額(億円)	目標値		1,851億円	2,110億円
	実績値	1,635億円	集計中	
首都圏のアンテナショップへの来館者数(人)	目標値		900,000人	1,150,000人
	実績値	508,000人	698,000人	
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値		450,000人	520,000人
	実績値	397,000人	1,554,012人	

< 主な取組及び成果 >

- 1 知名度・魅力度向上、観光客の誘致促進を図るため、(公社)とやま観光推進機構が中心となり、県内15市町村が県とタイアップして戦略的な観光地域づくりに向け、各種マーケティングデータに基づく事業を推進した結果、県及び県内市町村と連携して様々な情報発信することで、オール富山で戦略的な魅力発信を行うことができた。

< 今後の取組 >

- 1 とやま観光推進機構(日本版DMO)の取組が県全体の地域経済活性化につながるよう、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に当該市の観光振興施策に取り組む。